



主のご降誕おめでとうございます。



第386号

2019年 1月

〒461-0004
名古屋市東区葵2丁目6-35
カトリック名古屋教区広報委員会
「教区ニュース」編集部
電話 (052) 935-2223
FAX (052) 935-2254
印刷所 株式会社 荒川印刷
毎月第1日曜日発行

1月1日
世界平和の日

1月18日から
25日まで
キリスト教一致
祈祷週間

1月27日
世界こども助け
合いの日・献金

教区ホームページ

福音の
ひびき

1月の説教者

1日 神の母マリア
グエン・ダン・ヒ
(神言修道会)

6日 主の公現
岩崎一二三
(聖心教会)

13日 主の洗礼
クンダク・シェンディ・カニシウス
(敦賀教会)

20日 年間第2主日
寺尾総一郎
(膳棚教会)

27日 年間第3主日
サンティアゴ・エドガルド
(神言修道会)

2019年 新年のあいさつ

信仰をつむぎ、信仰をつなぐ

— 福音化の歩みのために —

教区司教 松浦悟郎



新しい年のはじめにあたり、皆さまに神さまの祝福を心からお祈りします。

私は、昨年の新年のあいさつで「信仰をあれかし、世にある責任を果たす」と呼びかけました。私自身、昨年の歩みの中で、「世にある責任を果たす」とは具体的にどういふことかと考え、取り組んできました。皆さまにとっては、どうだったでしょうか。

さて、昨年、名古屋教区ではいろいろなことが行われました。それらはどれも、「司教教書」に示された課題の実現のためでした。企画のところでは、教区レベルで福音化養成研修会や正義と平和協議会全国集いが開催されました。運営上の大きな変化としては、昨年4月から、司祭の生活費の負担のしくみが変わり、一粒会や宣教師司牧評議会が新しい規約のもとでそれぞれスタートしました。信徒使徒職協議会も新しい活動のあり方に向かって動き出しています。

新しい年を實行できればと思います。

1. 信仰をつむぐ

「生活と信仰」「社会と教会」、それらは別々ではなく、一つに結ばれています。具体的な現実が私たちの信仰や教会のあり方を問い、それに対して、キリストの弟子としてどう応えるかという一つの問題だからです。そのために、生活を分かち合い、み言葉に触れ、共に祈り、派遣されていくプロセスはとても大切で、この体験のために昨年、福音化養成コースが行われましたが、このような機会を教区としても、小教区としても増やしていければと思います。具体的には、

* 分かち合いを中心とした教区研修会を、これからの計画する。小規模でもいいので、各小教区でも「生活に根ざした信仰」のために分かち合いを進めていく。

* 現実に対する福音の呼びかけに気づかぬに、聖書に触れる機会をもっと増やしていく。そのために、聖書週間(11月第3日曜日~第4日曜日)や各小教区で行われる講座や分かち合いを公開するなど工夫し、小教区を超えて誰でも参加できる機会を増やす。

2. 信仰をつなぐ

神さまからいただいた信仰、告げられた福音を、一人でも多くの人に伝えていくことは、私たちの大切な役割です。特に、次世代の子どもたちに信仰をつないでいくことは、第一義的には親の責務であり、同時に共同体全体の使命でもあります。具体的には、

* 親は、生活の中で子どもたちの信仰を育てる。例えば、子どもたちから出される疑問(信仰や教会など)に真剣に応える、家族で共に祈る、具体的な問題(友だち関係や進路、社会のニュースなど)を福音的な視点で話し合うなど。その上で、教会学校や共同体の協力を得て子どもたちの信仰を育てていく。特に、外国人移住者の子どもたちが参加しやすいように配慮する。

* 人々に福音を伝えることはキリストから私たちに託された使命。社会の中で福音的な価値観を示す(福音化への取り組み)、直接信仰を伝える、求めている人を教会へ招くなど、形はいろいろあるが、何よりもそのために私たちがキリストに呼ばれたことを自覚し、できることを行う。

私たちに信仰という恵みが与えられているのは、イエスの時代から今に至るまで途切れることなく信仰をつないでくれた人びとがいたからです。信仰を受け継いでいく目的は、神の国の実現のため、すなわち、分裂と孤独、貧困と暴力に苦しむ世界に、「和解と一致」をもたらすというキリストの救いの業に参与するためなのです。

新しい一年を始めるにあたって、私たちが受け継いだ信仰をしっかり次世代につなぎ、人々に福音を伝えていく決心を新たにしましょう。

新成人を祝う教区新年の集い2019



日時 1月20日(日) 14:00~17:00
会場 カトリック布池教会
内容 14:00司教ミサ(大聖堂)
16:00茶話会(地下ホール)
17:00終了予定
主催 カトリック名古屋教区
問合せ 名古屋教区本部事務局
☎052-935-2223

名古屋教区殉教者祭のお知らせ

- ①『栄国寺』
日時 2月2日(土) 10:30~
ロザリオの祈り 名古屋教区殉教者顕彰ミサ
司式 ミカエル松浦悟郎司教
会場 栄国寺境内キリシタン顕彰碑前 名古屋市中区橋1-21-38
交通 地下鉄名城線「東別院」駅下車
4番出口北へ3分「下茶屋公園」交差点を西へ4分
栄国寺には駐車場がありません。公共交通機関をご利用ください。
連絡 ・ロザリオをご持参ください。
・司祭、助祭の方は「赤」のストラをご持参ください。
・式場へは顕彰碑の南側広場(道路沿い)からお入りください。
・顕彰碑、墓地が建立されている区画には、入らないようにお願いします。
- ②『カトリック金沢教会』
福者ユスト高山右近殉教者ミサ
日時 2月2日(土) 14:00~
司式 アウグスチノ野村純一名誉司教
会場 カトリック金沢教会 金沢市広坂1-1-54
交通 JR金沢駅から市バスで「香林坊」バス停下車 徒歩5分
連絡 司祭、助祭の方は「赤」のストラをご持参ください。
①②の問合せは名古屋教区宣教師司牧評議会事務局
☎052-936-8366 Fax052-935-2254

「美濃・尾張キリシタン顕彰碑」建設募金キャンペーンについてお願い

名古屋教区では17世紀後半に起こった「濃尾崩れ」発祥の地となった岐阜県可児市塩の地に、顕彰碑を建てる予定を進めています。つきましては皆さまのご協力をよろしくお願ひします。
キャンペーン期間 2018年12月2日~2019年11月30日
振込先 カトリック名古屋教区 00810-5-50605
(通信欄に必ず「美濃・尾張キリシタン顕彰碑建設募金」と明記ください)
問合せ カトリック名古屋教区宣教師司牧評議会
殉教者顕彰委員会委員長 浅井太郎神父
〒491-0044 愛知県一宮市大宮1-7-1 ☎/ Fax0586-73-4884

共に生きる地球家族

第40回日本カトリック正義と平和全国集会

2018名古屋大会

「共に生きる地球家族」今問われる私たちの選
び、私の決意」をテーマとする第40回日本カトリック正義と平和全国集会2018名古屋大会が、11月23日、24日の二日間、名古屋教区が主催し、日本カトリック正義と平和協議会が共催する名古屋カテドラル布池教

会場で基調講演とシンポジウムが、2日目は名古屋市内および近郊の教会やカトリック施設で16の分科会が行われた。
札幌教区から那覇教区までの名古屋教区外からも、およそ400人の参加者を迎え、私たち一人一人がどう選り、どう生きるのか、確認する恵みの機会となった。

大会実行委員長の松浦悟郎司教は開会あいさつで、「今、世界中で自国中心主義、それに伴う排他主義が広がっている。私たちはこの地球、全世界を家族としてとらえ、フランススコ教皇が回勅『ラウダート・シ』で問

いかけたこと、つまり、私たちの後に続く人々、また成長しつつある子どもたちのために、私たちはいったいどのような世界を残したいのかという問いに、しっかり答えなければならぬ」と呼びかけた。
正義と平和協議会会長の勝谷太治司教（札幌教区）は、青年をテーマにして開かれたシノドス（世界代表司教会議）の報告をもとに、「低くなつて耳を傾け、共に歩んでいく」のが教会のあるべき姿と説いた。

植民地主義が姿を変えてグローバル化の現代にまで受け継がれていることを基底に、資本主義にとつて民主主義が都合のよかつた時代はすでに去り、今日では資本主義が暴走しているとの認識を示しながら、自身の関わる市民活動や国連会議参加の経験を経て、資本主義の先の世界、多様な文化・生命・地域を尊重する循環型の市場経済「定常社会」における希望を示した。



シンポジウムで話される左から松浦悟郎司教、羽後静子教授、弘田鎮枝修道女、ヨゼフ・アペイヤ補佐司教

大会実行委員長の松浦悟郎司教は開会あいさつで、「今、世界中で自国中心主義、それに伴う排他主義が広がっている。私たちはこの地球、全世界を家族としてとらえ、フランススコ教皇が回勅『ラウダート・シ』で問

いかけたこと、つまり、私たちの後に続く人々、また成長しつつある子どもたちのために、私たちはいったいどのような世界を残したいのかという問いに、しっかり答えなければならぬ」と呼びかけた。
正義と平和協議会会長の勝谷太治司教（札幌教区）は、青年をテーマにして開かれたシノドス（世界代表司教会議）の報告をもとに、「低くなつて耳を傾け、共に歩んでいく」のが教会のあるべき姿と説いた。

基調講演では中部大学国際関係学科教授の羽後静子さんが「世界のゆがんだ経済格差、その現実と原因」資本主義と民主主義の「結婚」か「離婚」か?と題して縦横に語った。
大航海時代に始まった



ZEROキャンベーンについて話す菊地功大司教

植民地主義が姿を変えてグローバル化の現代にまで受け継がれていることを基底に、資本主義にとつて民主主義が都合のよかつた時代はすでに去り、今日では資本主義が暴走しているとの認識を示しながら、自身の関わる市民活動や国連会議参加の経験を経て、資本主義の先の世界、多様な文化・生命・地域を尊重する循環型の市場経済「定常社会」における希望を示した。



閉会後、他教区より車椅子にのり一人で参加した女性に、「参加して本当に良かった。力を貸した。神様のお導きを

は、女子修道会のリーダーとして国際的な正義と平和の問題に取り組んできた経験から、祈りのうちに福音の非暴力を説いた。非人道的な政治と利潤追求のグローバルイズムが消費主義と物質主義を無制限におり立てる果てにあるのは、女性の

補佐司教は、12年間務めたクラレチアン宣教会総長時代などに70か国を訪れ、世界に広がる貧富の格差をその目で見てきた経験から具体的なケースを紹介し、そのような現状にキリスト者として何をすべきか、実際には何をすべきか、そして何ができるかを、やはりたいへん具体的に示してみせた。
ベリス・メルセス宣教師
道女会のシスター弘田鎮枝

は、女子修道会のリーダーとして国際的な正義と平和の問題に取り組んできた経験から、祈りのうちに福音の非暴力を説いた。非人道的な政治と利潤追求のグローバルイズムが消費主義と物質主義を無制限におり立てる果てにあるのは、女性の

閉会後、他教区より車椅子にのり一人で参加した女性に、「参加して本当に良かった。力を貸した。神様のお導きを



まじりの言葉を語る松浦司教

ニューヨーク・デロス・ミラグロス」の美しい輿が展示された。難民移住移動者委員会委員長でもある松浦司教が「外国に移動して言葉が分からない、考えが違う、習慣が違うというたいへんな中、故国の祝祭のために教会に集まることは大きな意味がある。素晴らしいことだ」「これらの祭りに最近日本人の参加者も増えている」と喜びの言葉で結んだ。最後に「教会が喜びの場であり、安全な場であり、出発の場であることを確認して、がんばってほしい」と励ました。

17時よりまとめと派遣ミサと閉会式が満席の布池教会聖堂で行われた。まとめでは、名古屋教区の青年たちが撮った各分科会の映像が聖堂正面に

信仰をつむぎ、信仰をつなぐ

大会を振り返る青年二人

ジョセフ・チェノットウ 教皇大使

学校法人名古屋カトリック学園 あけの星幼稚園50年の歩み

神様の大きな愛に 包まれた50年

「あけの星」は「マリア様の星」

さわやかな秋晴れの中、あけの星幼稚園(1969年4月開園)の創立50周年記念祝賀会が11月3日、同園で行われた。

感謝ミサがカトリック緑ヶ丘教会で行われ、松浦悟郎司教が主司式、平田豊彦神父(あけの星幼稚園園長)、竹延真治神父(クラレチアン宣教会副管区長)、ヤマス神父(クラレチアン宣教会)、マルセリーノ神父(同宣教会)が共同司式、早川和彦助祭が奉仕された。約80人のあけの星幼稚園関係者とともに、神様の



恵みと見守りの中でこの日を迎えられたことに感謝し、喜びのうちに祭儀を捧げた。

ミサの共同祈願では教師たちが「神様のわざである幼児教育に関わることでできること、神様の大きな愛に包まれ50年の間、子どもたちが健やかに成長し毎日を通して感謝していることに感謝します。卒園していった子どもたち、在園している子どもたち、園に関わった沢山の人が、これからの心豊かに成長していけるように」と祈った。

ミサ後、遊戯室に会場を移し祝賀会が行われた。開会の挨拶に続き、長きに渡ってカトリック幼児教育に尽力のあったクラレチアン宣教会、緑ヶ丘教会、中山訓男元園長・理事長、中山治子元主任教諭に感謝状が授与された。

福音化の歩みのために

南山大学附属小学校創立10周年

感謝の歌声響く

小学生から大学生が 同じステージに

創立10周年を迎えた南山大学附属小学校(以下、南山小)では、11月23日、南山小聖歌隊による記念コンサートが行われた。聖歌隊は2008年の開校と同時に発足。「神さまの愛と平和の心を多くのの人に」を合言葉に、校内行事、地域のイベント、病院・老人ホームでの奉仕活動のほか、チャリティコンサートを毎年開催。今年で9回目を迎え、主に東日本大震災の復興支援を目的として、コンサート前半は、2



迎え総勢約120人が、ヴィヴァルディ作曲「グロリア(栄光の賛歌)」を披露。小学生から大学生までが同じステージに立つことは珍しく、夏休みや休日に練習を重ねたというハーモニイが会場全体に響き渡った。

南山小聖歌隊児童は全員、オリジナルのガウンとペンダントを着用。ガウンは、校長の西脇良神

「米ケネディカトリック高校・アジアサポートオフィス」が 一宮に開設

アメリカのワシントン州にあるケネディカトリック高校の「アジアサポートオフィス」が2018年11月9日、愛知県一宮市音羽(一宮教会のすぐ近く)に開設された。

オフィスの開所にあたり、松浦悟郎司教を招いて事務所の祝賀式が執り行われた。この事務所は同校の国際教育部長で一宮市宮西小学校出身の藤原麻里子さんが、ご自身のお父様の店舗を改装してオフィスにしたもの。



藤原さんは一宮教会主任司祭に宛てたメールの中で「一宮教会のコミュニティの方々と、ぜひともこれから友好関係を築き、国際教育をサポートしていきたい」と思っております。アメリカへの留学は、本校の高校レベルのみならず、語学研修から大学レベルまで幅広く情報を把握しておりますので、留学に関する色々とアドバイスができれば幸いです。これもボランティアという形で地域の子どもたちの留学を応援します。また、本校の学生や教職員が一宮を訪問する際は事前にご連絡しますので、助けていただけるとう嬉しいです。

では、今後とも宜しくお願ひします」と語る。

参考までに関連記事が中日新聞2018年11月10日朝刊尾張版に掲載された。

本田哲郎神父による 聖書についての講話 「生活の中の聖書」

本田哲郎神父は上智大学神学部を卒業後フランススコ会に入会し、ローマ教皇庁立聖書研究所で聖書を学び、現在は大阪市西成区あいりん地区で、社会的に恵まれない方々と共に生活し援助活動を行っている。この講話を通して、私たち信者が日々の生活の中で、聖書のみことばをどう生きていくのか、ヒントになるお話がいただけます。どなたでも自由にご参加ください。

日時 1月12日(土)
第一部 11:00~12:30
第二部 13:30~15:00

場所 カトリック南山教会マリア館2階
(地下鉄鶴舞線いりなか駅下車徒歩5分)

持ち物 聖書、筆記用具、昼食

問合せ 神のいつくしみの祈りの会
☎090-1726-5627

「青年のための聖書の学び」

テーマ ルカ22章イエスの立ち位置
「わたしはあなたのために、信仰がなくならないように祈った」

日時 1月27日(日)
対象 青年男女(18~32歳)
時間 13:30~19:50(高校生16:30まで)

FB 「青年のための聖書の学び」
HP <http://www.concepcionistas.jp/>
連絡先 名古屋市中種区園山町1-56
☎052-782-5850
聖マリアの無原罪教育宣教師修道会
担当者:シスター碇(いかり)政子

第8回『あとから来る者のために』 原発勉強会

どなたでも、気軽にご参加ください。一緒に原発について考えましょう。

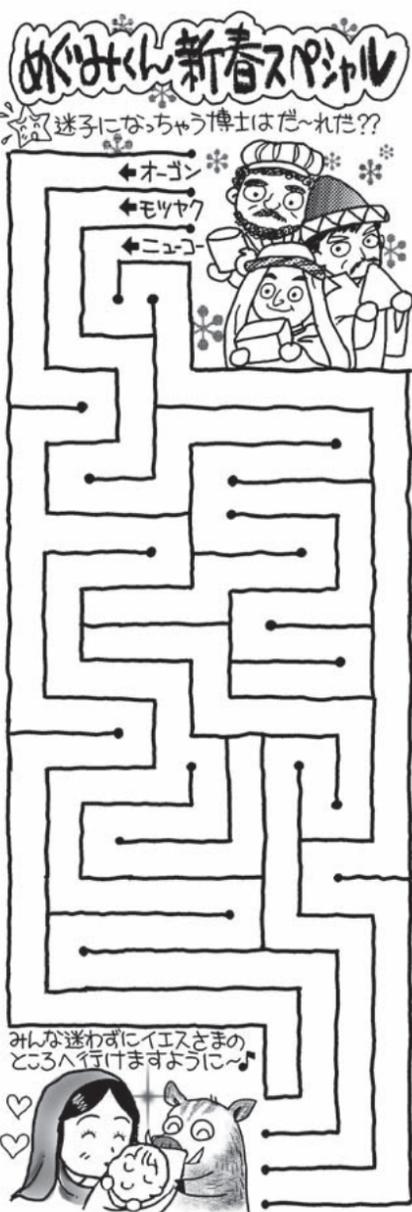
日時 2月9日(土) 13:30~15:00

場所 カトリック布池教会信徒会館3F
名古屋市東区葵1丁目12-23

参加費 200円

主催 次世代を考える会

問合せ 三本木國喜 ☎0561-83-5360



1月の教会暦
 1日(祝) 祭神の母聖マリア(祭)
 世界平和の日
 2日(水) 聖バジリオ聖グレゴリオ(ナジアンズ) 司教教会博士(記)
 6日(日) 主の公現(祭)
 13日(日) 主の洗礼(祝)
 17日(木) 聖アントニオ修道院長(記)
 18日(金) 25日(金) キリスト教一致祈禱週間
 20日(日) 年間第2主日
 21日(月) 聖アグネスおとめ殉教者(記)
 24日(木) 聖フランシスコ・サレジオ 司教教会博士(記)
 25日(金) 聖パウロの回心(祝)
 26日(土) 聖テモテ聖テトス司教(記)
 27日(日) 年間第3主日
 世界こども助け合いの日(献金)
 28日(月) 聖トマス・アクイナス司教 教会博士(記)
 31日(木) 聖ヨハネ・ボスコ司教(記)

2月の主な教会暦(主日・祭日など)
 3日(日) 年間第4主日
 10日(日) 年間第5主日
 17日(日) 年間第6主日
 24日(日) 年間第7主日

教区行事予定 (* 松浦司教)
 1月
 4日(金) 教区事務所仕事始め
 8日(火) 樹の会
 12日(土) 宣司評運営委員会* / 濃尾 B会議 / 信徒協役員会 / 共助連絡会

13日(日) 三河B会議 / 教区中高生会
 15日(火) カトリック看護協会例会 / カリタス福祉委員会
 17日(木) 教区顧問会* / 月集*
 20日(日) 新成人を祝う教区新年の集い*
 23日(水) 司教評常任委員会*
 26日(土) 典礼委員会
 27日(日) 教会学校教師会
 2日(土) 殉教者祭(栄国寺) * / 殉教者祭(高山右近) 宣教司牧評議会*
 3日(日) 宣教司牧評議会*
 6日(水) カリタス福祉委員会
 9日(土) 信徒協理事會
 10日(日) 教区中高生会
 11日(月) 典礼委員会研修会
 12日(火) 樹の会
 16日(土) 正義と平和学習会 / 共助連絡会研修会 / 信徒協講演会*
 17日(日) 南山教会堅信式* / 愛岐B会議
 19日(火) カトリック看護協会例会
 21日(木) 教区顧問会* / 月集*
 23日(土) 典礼委員会
 28日(木) 司教評議会*

1月
 10日(木) 常任司教委員会
 22日(火) 南山学園評議員委員会
 24日(木) 25日(金) 外キ協全国会議
 31日(木) 大阪教区管区司教会議

2月
 6日(水) 子どもと女性の権利擁護のため
 7日(木) 常任司教委員会
 12日(火) 15日(金) 司教総会

建設費の返済に協力を

586件 28,908,675円
 目標額 40,000,000円 (11月末)

達成率 約72.2%

郵便振替 00810-5-50605
 加入者名 カトリック名古屋教区
 通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。

福祉映画祭 in 名古屋2019の予告

映画は2日間で邦画、洋画、ドキュメンタリー、アニメ映画の4作品を予定。すべて作品には日本語字幕とシーンボイスガイドつき。障害のある人もない人もともに楽しんでください。

テーマ 「みんなちがって、みんないい」
 日程 2月8日(金)、9日(土)
 会場 名古屋学院大学白鳥学舎翼館4階 クラインホール
 名古屋市熱田区熱田西町1番25号
 受講料 一日1000円 定員 一日250人
 内容 映画上映ならびに映画に関するゲストを招いて座談会などの企画を予定。詳細は来月号に。
 問合せ AJU 自立の家 ☎052-841-5554

告知板

福信館便り ☎052(935)7180
 ◆1月の炊き出し 木3日越冬終り、10日布池、17日聖霊・南山・樹の会、24日城北橋、31日南山、4日喜望の会、11日南山、18日長浦、25日布池

22日(金) 23日(土) AOS全国研修会

カルメル修道会 土曜静修 in 名古屋

—カルメル会士とともに過ごす聖母の土曜日—

日時 1月5日、2月2日、3月2日、4月6日
 5月4日(祝)、6月1日、7月6日
 いずれも土曜日。13:00~17:00。
 講話・黙想・ミサ・教会の祈りなど。

場所 カルメル修道会
 日比野(本部)修道院
 (カトリック日比野教会)

交通 地下鉄名港線
 日比野駅下車 徒歩約8分

その他 参加の事前連絡は不要。直接お越し下さい。
 当日は千円程度のご寄付をお願いします。
 ゆるしの秘跡にあずかることができます。

問合せ 男子跣足カルメル修道会 一日静修係
 Fax 052-681-6445
 E-mail: hibino@carmel.or.jp

新刊書のご案内

「愛のあるところ、神はそこにおられる」

“世界で最も美しいことは、神が私たち一人ひとりを愛されるように、お互いを愛することです。そして、わたしたちがこの世界にいるのは、まさにそのためです”

著者 マザー テレサ
 編者 ブライアン・コロディエチュック神父
 訳者 里見貞代
 発行日 12月10日発行
 定価 本体2600円+税

WHERE THERE IS LOVE, THERE IS GOD

松浦悟郎司教講演会のお知らせ

「信徒、この眠れる巨人」

日時 2月16日(土) 13:00~16:00
 場所 布池文化センター1号館3階 コンコルディアホール
 対象 一般信徒の方すべてどなたでもご参加いただけます。
 問合せ 名古屋教区信徒使徒職協議会 ☎052-933-3435

名古屋教区、神言会・聖霊会 JPIC 勉強会 シリーズ第4回

テーマ「共に生きる地球家族」

日時 2月24日(日)
 13:30~16:00 (開場13:00)

場所 南山教会マリア館2階
 名古屋市昭和区南山1
 (地下鉄鶴舞線いりなか駅下車 徒歩5分)

テーマ 「今を生きる力の源—神、人、自然とひとつとなる生き方」

講演者 中川博道神父(カルメル修道会)

問合せ 福信館 ☎052-935-7180 (Fr. 竹谷)
 八事聖霊修道院
 ☎052-832-0434 (Sr. 武田)

主催 神言修道会・聖霊会 JPIC 委員会
 名古屋教区正義と平和委員会

新刊書のご案内

「教皇フランシスコ講話集5」

ペトロ文庫

2017年内の発言を集めた教皇フランシスコの講話集です。フィロニ枢機卿が来日時に携えてきた日本の司教への親書「カトリック教会のカテキズム」公布25周年記念講話、核兵器廃絶のための国際シンポジウムでのあいさつ、少数民族問題で揺れるミャンマーとバングラデシュへの司教訪問の振り返り、上智大学で行われた映像回線を通じての教皇と若者の対話などを収録。

定価 本体1100円+税8%
 問合せ ご注文は下記まで
 カトリック中央協議会・出版部
 〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10
 ☎03-5632-4429 Fax03-5632-4456

東日本大震災・災害支援金の報告と募金のお願い

発災時より、名古屋教区カリタス福祉委員会(旧・社会福祉委員会)へ振込まれました支援金を下記の通りご報告いたします。温かいご支援に心より感謝いたします!!

東日本大震災被災者支援募金募金 (振込手数料引去後の金額)

| | | |
|-------------|------------|-----------------|
| 摘要 | 単月明細 | 2011.3.17発災から |
| | 11/1~11/30 | 2018.11.30までの合計 |
| 募金、ご寄付 収入合計 | 0 | 29,939,098 |
| ベース他支援 支出合計 | 0 | 29,645,727 |
| | 支援金残高合計 | 293,371 |

※上記11月度に支援金のご協力いただいた小教区・個人(敬称略)
 11月度は振込はありませんでした

★名古屋教区の支援金は
 カリタス大船渡ベースとカリタス南三陸(旧・米川ベース)、カリタス南相馬、カリタスジャパン(東日本大震災募金)、そして、福島での活動団体を中心に支援していきます。引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い致します。

★各ベースの震災支援状況は仙台教区サポートセンター活動日記のHPに掲載されています。
<http://caritasjapan.jugem.jp>

☆インドネシア地震災害支援金をご協力いただいた修道院、小教区、個人(敬称略)(11/4~11/30振込分) 7件 438,365円(振込手数料引去後の金額)(10/3~11/30 合計 35件 1,754,752円)
 (小教区) 半田、安城、高岡(幼稚園) 聖テレジア幼稚園
 (団体) 聖マリア女学院中学校高等学校生徒会、多治見教会一粒の麦の会
 (個人) 落合一美

☆2019.4月の復活祭まで募金を集め、聖心布教会を通して被災地へ送金させていただきます。温かいご支援をよろしくご協力をお願いします。

★支援金振込先
 口座番号 00820-5-137456
 名義 カトリック名古屋教区カリタス福祉委員会
 「東日本大震災・災害支援金」
 「インドネシア地震災害支援金」等
 募金の意向先を記入願います。
 ※振替口座番号、名義が変更となりました。ご注意ください。

ご連絡・問合せ先
 カリタス福祉委員会
 電話 052-852-1426
 FAX 052-852-1422